



## 平成24年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年2月10日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社ソディック

コード番号 6143 URL <http://www.sodick.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 藤原 克英

問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役

(氏名) 古川 健一

TEL 045-942-3111

四半期報告書提出予定日 平成24年2月10日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成24年3月期第3四半期の連結業績(平成23年4月1日～平成23年12月31日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第3四半期	41,064	4.2	4,659	16.2	3,068	28.9	1,096	△66.7
23年3月期第3四半期	39,394	55.2	4,010	—	2,379	—	3,290	—

(注) 包括利益 24年3月期第3四半期 296百万円 (△88.4%) 23年3月期第3四半期 2,549百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第3四半期	22.15	—
23年3月期第3四半期	66.46	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24年3月期第3四半期	83,018	26,519	31.6
23年3月期	79,510	28,158	33.3

(参考) 自己資本 24年3月期第3四半期 26,225百万円 23年3月期 26,451百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	—	0.00	—	6.00	6.00
24年3月期	—	5.00	—	—	—
24年3月期(予想)	—	—	—	5.00	10.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	55,000	1.4	5,000	△10.7	3,000	△23.9	2,000	△60.9	40.39

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

#### 4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	24年3月期3Q	53,432,510 株	23年3月期	53,432,510 株
② 期末自己株式数	24年3月期3Q	3,921,430 株	23年3月期	3,921,080 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	24年3月期3Q	49,511,273 株	23年3月期3Q	49,511,749 株

#### ※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

#### ※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記に記載した予想数値は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確定な要素を含んでおります。実際の業績等は、業況の変化等により、上記予想数値と異なる場合があります。

なお、予想数値に関する事項については、四半期決算短信(添付資料)2ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報 .....	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報 .....	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報 .....	2
2. サマリー情報（その他）に関する事項 .....	2
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 .....	2
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	2
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	2
3. 四半期連結財務諸表 .....	3
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	5
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	5
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	6
(3) 継続企業の前提に関する注記 .....	7
(4) セグメント情報等 .....	7
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 .....	8
(6) 重要な後発事象 .....	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、東日本大震災後の復興により企業の生産活動が回復するなど持ち直しの動きは見られたものの、タイ国の洪水の影響、さらには欧州の債務危機の深刻化や超円高の継続など、総じて厳しい状況にありました。

当社グループにおいては、タイ国の記録的な洪水によりパトゥムタニ県ナワナコン工業団地に所在するタイ工場が浸水の被害を受けて操業が停止するなど、生産体制に一時的な混乱が生じましたが、同工場の操業停止に伴う対応として、福井工場、中国の蘇州及び厦門工場において放電加工機の代替生産を進めて生産量の早期回復に努めました。その後、関係企業の皆様をはじめとした各方面のご支援もあり、タイ工場は12月中旬に一部操業を再開しております。

また、経営環境の変化と当社グループの将来を見据えた施策も行っていました。当社グループを取り巻く経営環境は、新興国市場の成長と国内ユーザーの海外シフトによりグローバル化が一段と加速しています。この急変する環境に対応するためには、より一層の経営資源の選択と集中が必要です。この度、当社グループの競争力の維持・強化を図るため、連結子会社ソディックプラステックの完全子会社化を目的とした公開買付を実施しました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は前年同四半期比16億69百万円増（前年同四半期比4.2%増）の410億64百万円となりました。利益面では、営業利益は前年同四半期比6億49百万円増（前年同四半期比16.2%増）の46億59百万円、経常利益は前年同四半期比6億88百万円増（前年同四半期比28.9%増）の30億68百万円、四半期純利益は前年同四半期比21億93百万円減（前年同四半期比66.7%減）の10億96百万円となりました。

### (2) 連結財政状態に関する定性的情報

前連結会計年度末と比較して、資産は35億7百万円増加し、830億18百万円となりました。主な増加要因としては、現金及び預金が33億98百万円、貸倒引当金の取崩3億6百万円増加したことなどがあげられます。

また、負債においては前連結会計年度末と比較して、51億47百万円増加し、564億99百万円となりました。主な増加要因としては、短期借入金51億76百万円増加したことなどがあげられます。

純資産においては前連結会計年度末と比較して、16億39百万円減少し、265億19百万円となりました。主な減少要因としては、少数株主持分14億13百万円、利益剰余金5億20百万円の減少などがあげられます。

### (3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成23年11月11日に公表いたしました業績予想に変更はありません。

## 2. サマリー情報（その他）に関する事項

### (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

### (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

### (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成23年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	16,622	20,020
受取手形及び売掛金	14,275	12,115
商品及び製品	5,547	4,163
仕掛品	5,054	4,802
原材料及び貯蔵品	7,070	8,716
その他	3,553	4,689
貸倒引当金	△559	△252
流動資産合計	51,566	54,255
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	18,333	18,726
機械装置及び運搬具	12,321	11,954
その他	10,848	11,326
減価償却累計額	△19,674	△20,222
有形固定資産合計	21,829	21,785
無形固定資産		
のれん	1,762	2,533
その他	805	847
無形固定資産合計	2,567	3,381
投資その他の資産		
その他	3,826	3,966
貸倒引当金	△278	△369
投資その他の資産合計	3,547	3,597
固定資産合計	27,944	28,763
資産合計	79,510	83,018

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成23年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	9,568	9,652
短期借入金	12,065	17,242
1年内返済予定の長期借入金	3,665	3,628
未払法人税等	406	234
引当金	654	506
その他	6,096	5,560
流動負債合計	32,457	36,825
固定負債		
社債	58	51
長期借入金	16,965	17,647
退職給付引当金	1,072	1,076
引当金	106	118
資産除去債務	218	221
その他	473	558
固定負債合計	18,894	19,674
負債合計	51,352	56,499
純資産の部		
株主資本		
資本金	20,775	20,775
資本剰余金	5,879	5,879
利益剰余金	4,181	4,702
自己株式	△2,135	△2,135
株主資本合計	28,701	29,221
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	27	13
為替換算調整勘定	△2,277	△3,009
その他の包括利益累計額合計	△2,249	△2,996
新株予約権	23	23
少数株主持分	1,682	269
純資産合計	28,158	26,519
負債純資産合計	79,510	83,018

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
(四半期連結損益計算書)  
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)
売上高	39,394	41,064
売上原価	26,625	27,301
売上総利益	12,768	13,763
割賦販売未実現利益戻入額	3	4
差引売上総利益	12,772	13,767
販売費及び一般管理費		
人件費	3,262	3,714
貸倒引当金繰入額	100	133
のれん償却額	149	116
その他	5,248	5,143
販売費及び一般管理費合計	8,761	9,108
営業利益	4,010	4,659
営業外収益		
受取利息	15	36
受取配当金	38	57
貸倒引当金戻入額	—	108
その他	248	127
営業外収益合計	302	329
営業外費用		
支払利息	426	480
為替差損	1,367	1,119
その他	139	321
営業外費用合計	1,933	1,921
経常利益	2,379	3,068
特別利益		
固定資産売却益	314	32
投資有価証券売却益	22	—
貸倒引当金戻入額	15	—
受取保険金	—	1,295
その他	60	23
特別利益合計	413	1,350
特別損失		
のれん償却額	118	—
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	173	—
災害による損失	—	2,514
その他	117	114
特別損失合計	409	2,629
税金等調整前四半期純利益	2,384	1,789
法人税、住民税及び事業税	360	630
過年度法人税等	△488	—
法人税等調整額	△864	110
法人税等合計	△992	740
少数株主損益調整前四半期純利益	3,377	1,048
少数株主利益又は少数株主損失(△)	86	△48
四半期純利益	3,290	1,096

(四半期連結包括利益計算書)  
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	3,377	1,048
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	15	△14
為替換算調整勘定	△843	△737
その他の包括利益合計	△828	△751
四半期包括利益	2,549	296
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	2,483	350
少数株主に係る四半期包括利益	65	△53

## (3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

## (4) セグメント情報等

## I 前第3四半期連結累計期間（自平成22年4月1日 至平成22年12月31日）

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント								
	工作機械								産業機械
	日本 (注) 1	北・南米	欧州	中華圏	その他 アジア	計	調整額 (注) 2	工作機械 計	
売上高									
外部顧客への売上高	9,718	2,338	2,961	8,084	2,012	25,116	—	25,116	7,603
セグメント間の内部 売上高又は振替高	7,012	164	18	2,126	8,371	17,692	△17,493	199	20
計	16,730	2,503	2,980	10,211	10,383	42,809	△17,493	25,316	7,623
セグメント利益	3,005	291	19	880	105	4,301	△1	4,300	350

	報告セグメント				その他 (注) 3	合計	調整額 (注) 4	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 5
	精密金型・ 精密成形	食品 機械	要素 技術	報告 セグメント 計				
売上高								
外部顧客への売上高	2,639	2,103	1,830	39,293	101	39,394	—	39,394
セグメント間の内部 売上高又は振替高	14	—	1,364	1,598	202	1,801	△1,801	—
計	2,653	2,103	3,194	40,891	304	41,195	△1,801	39,394
セグメント利益	380	44	163	5,238	25	5,264	△1,253	4,010

(注) 1. 「工作機械 日本」の区分には、日本国内における受注で海外（韓国、台湾、インド等）への販売分を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額△1百万円には、セグメント間取引消去△1百万円が含まれております。

3. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、リース事業、印刷事業等を含んでおります。

4. セグメント利益の調整額△12億53百万円には、セグメント間取引消去△36百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△12億17百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない本社機能に係る費用であります。

5. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第3四半期連結累計期間（自平成23年4月1日 至平成23年12月31日）  
報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：百万円）

	報告セグメント								
	工作機械								産業機械
	日本 (注) 1	北・南米	欧州	中華圏	その他 アジア	計	調整額 (注) 2	工作機械 計	
売上高									
外部顧客への売上高	9,148	2,840	3,962	11,550	1,933	29,435	—	29,435	6,174
セグメント間の内部 売上高又は振替高	7,113	160	24	1,978	6,211	15,488	△15,388	99	9
計	16,262	3,000	3,986	13,528	8,145	44,923	△15,388	29,535	6,183
セグメント利益又は 損失（△）	2,959	381	240	1,535	343	5,460	113	5,573	△210

	報告セグメント				その他 (注) 3	合計	調整額 (注) 4	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 5
	精密金型・ 精密成形	食品 機械	要素 技術	報告 セグメント 計				
売上高								
外部顧客への売上高	2,109	1,633	1,637	40,990	73	41,064	—	41,064
セグメント間の内部 売上高又は振替高	4	—	1,683	1,796	169	1,966	△1,966	—
計	2,113	1,633	3,320	42,787	243	43,030	△1,966	41,064
セグメント利益又は 損失（△）	123	△114	364	5,736	28	5,764	△1,105	4,659

- (注) 1. 「工作機械 日本」の区分には、日本国内における受注で海外（韓国、台湾、インド等）への販売分を含んでおります。
2. 「工作機械」のセグメント利益の調整額1億13百万円には、セグメント間取引消去1億13百万円が含まれております。
3. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、リース事業、印刷事業等を含んでおります。
4. セグメント利益又は損失（△）の調整額△11億5百万円には、セグメント間取引消去△1百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△11億4百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない本社機能に係る費用であります。
5. セグメント利益又は損失（△）は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記  
該当事項はありません。

(6) 重要な後発事象

当社は平成24年1月13日開催の取締役会決議に基づき、連結子会社である株式会社ソディックプラスチック（以下、「ソディックプラスチック」といいます。）との間で、当社を完全親会社とし、ソディックプラスチックを完全子会社とするため、同日付けで株式交換契約を締結いたしました。

本株式交換の結果、当社はソディックプラスチックの完全親会社となり、完全子会社となるソディックプラスチックの株式は平成24年2月27日付けで上場廃止（最終売買日は平成24年2月24日）となる予定です。

株式交換の概要は、以下のとおりであります。

1. 株式交換の内容

当社を完全親会社とし、ソディックプラスチックを完全子会社とする株式交換。

2. 株式交換の日（効力発生日）

平成24年3月1日

3. 株式交換の方法

株式交換日現在のソディックプラスチックの株主名簿に記録の株主に対し、当社の自己株式の普通株式808,860株（予定）を割当交付いたします。

4. 株式交換比率

当社 0.52          ソディックプラスチック 1

5. 株式交換比率の算定根拠

株式交換比率の算定にあたって、当社及びソディックプラスチックがそれぞれ別個に、両社から独立した第三者算定機関に株式交換比率の算定を依頼することとし、当社は山田FAS株式会社（以下「山田FAS」といいます。）を、ソディックプラスチックは株式会社コーポレート・アドバイザーズ・アカウンティング（以下「コーポレート・アドバイザーズ・アカウンティング」といいます。）を、それぞれの第三者算定機関に選定いたしました。

山田FASは、当社について市場株価平均法による算定、ソディックプラスチックについて市場株価平均法、類似会社比較法及びDCF法（ディスカунテッド・キャッシュフロー法）による算定を行いました。

一方、コーポレート・アドバイザーズ・アカウンティングは、当社については、当社が金融商品取引所に上場しており、市場株価が存在することから、市場株価平均法を採用して株式交換比率の算定を行いました。ソディックプラスチックについては、ソディックプラスチックが金融商品取引所に上場しており、市場株価が存在することから市場株価平均法を、また、ソディックプラスチックには比較可能な上場類似会社が複数存在し、株式価値の類推が可能であることから類似会社比較法を、さらに、将来の事業活動の状況を算定に反映するためDCF法を採用して株式交換比率の算定を行いました。

これらの算定結果を参考に、当事者間で協議し株式交換比率を決定いたしました。